



Title	学会報告
Author(s)	
Citation	Anais : Colóquio de Estudos Luso-Brasileiros. 2025, 51, p. 124-126
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/103352
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【学会報告】

2024年日本ポルトガル・ブラジル学会大会

会場：東京外国語大学 留学生日本語教育センター さくらホール

日時：2024年10月27日（日）13時～18時

13:00～13:30 総会

— 研究発表 —

13:40～14:10

「カーネーション革命50周年 今日的視点からどう見るか」

横田正顕（東北大学法学研究科）

14:20～14:50

「新国家への忠誠と反逆：エンリケ・ガルヴァン（Henrique Galvão）の両義性——1930年代の活動を中心に」

李悦（東北大学法学研究科博士後期課程）

15:00～15:30

「パウロ・オノーリオは日本語で語れるのか——グラシリ亞ノ・ハーモス著『サンベルナルド』の試訳から」

岐部雅之（京都外国語大学）

フェリッペ・モッタ（京都外国語大学）

15:40～16:10

「モザンビーク南部における産業技術の流入経路——マトラ市の溶接技術を事例に」

畔柳理（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

16:20～16:50

「アンゴラ引揚者のアイデンティティの所在——ドゥルセ・マリア・

カルドーヴの小説『帰還』をめぐって」

上田寿美（京都外国語大学）

17:00~17:30

「ポルトガル語の接続法 — シラバスにおける位置付け」

ペドロ・アイレス（京都外国語大学）

彌永史郎（京都外国語大学）

鳥越慎太郎（大阪大学）

総会議事録

次第

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告
- 第 2 号議案 2023 年度決算および監査報告
- 第 3 号議案 2024 年度事業計画（案）
- 第 4 号議案 2024 年度予算（案）
- その他

議事録

*議事の進行について

会長・伊藤秋仁が司会進行を務めた。

第 1 号議案（2023 年度事業報告）

会長が、理事会の開催、全国大会の開催、ANAIS の発行について報告し、了承された。

第 2 号議案（2023 年度決算および監査報告）

会長が、資料に基づき 2023 年 4 月から 2024 年 9 までの決算報告を行った。

その後、上田寿美監事・岐部雅之監事より「会計は適正に管理されている」との監査結果が報告された。

第 3 号議案（2024 年度事業計画案）

会長が、全国大会の開催、会員の要望に応じた**東日本・中部日本・西日本各部会**の開催、ANAlS の発行を予定している旨を報告し、了承された。

第4号議案（2024年度予算案）

会長が、過年度の決算状況に基づく予算案を報告し、了承された。

その他

- 学会の HP 開設が報告された。
- ポルトガル大使館文化部およびブラジル大使館文化部との連携強化を目指す旨が議論された。
- 会費について、適正化に向けて理事会で取り組むことが表明された。
- 全国大会について、理事会方針として **2025年度は大阪大学、2026年度は愛知県立大学、2027年度は上智大学**で開催予定である旨が報告された。

(文責：伊藤秋仁)